

レジメン名 (治療名)					
ニボルマブ・イピリムマブ					
癌腫	レジメン (略語)	実施区分	抗がん剤適応区分		
非小細胞肺癌 悪性胸膜中脾腫	Nivo・IPI	<input checked="" type="checkbox"/> 入院 <input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法	<input type="checkbox"/> 大量化学療法 <input type="checkbox"/> 局所化学療法 <input type="checkbox"/> その他	
投与順	抗がん剤名 (商品名・略称)	1日投与量	投与経路	投与時間	投与日 (day1、8等)
1	ニボルマブ【Nivo】	360mg/body	点滴静注	30分	Day1、22
2	イピリムマブ【IPI】	1mg/kg	点滴静注	30分	Day1
1コースの期間 (次コースまでの標準期間)		6週間			
総コース数及び総投与量の限界		PDまで			
プレメディケーション ポストメディケーション		なし			
備考		<p>・ドライバー遺伝子陰性の非小細胞肺癌が対象。PD-L1の発現率は問わない。</p> <p>・体重がベースラインから10%以上変動があった場合、イピリムマブの投与量を再設定する。</p> <p>・infusion reactionを起こした際の対処法 軽症～中等症：注入速度を緩める。目安は投与時間を1.5倍延長。または中止。中止後も改善しない場合は、適切な対処を行う。 重症：直ちに中止して、適切な対処を行う。</p> <p>・infusion reactionを起こした際には、次回投与時から必要に応じて副腎皮質ステロイドの投与を検討する。</p> <p>・ワクチン接種時期は治療開始1週間前まで、または投与開始1週間後を目途に行うこと。接種後30分は経過観察（メーカー推奨）。</p> <p>・コース間の休薬、投与の延長：適正使用ガイドに従う</p> <p>・モニター項目 間質性肺炎：胸部CTの実施、KL-6・SP-Dの採血 甲状腺機能：TSH、F-T3、F-T4 糖尿病：HbA1c、随時血糖</p> <p>・関節リウマチ等の生命の危機を即時脅かさない自己免疫性疾患に関しては精査後に使用を検討すること。</p>			

≪投与順≫

Day1

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	100mL	
	ニボルマブ	360mg	30分
(3)	生理食塩液	50mL	30分
(4)	生理食塩液	全液量 30mL に調整	
	イピリムマブ	1mg/kg	30分
(5)	生理食塩液	50mL	5分

Day22

(1)	生理食塩液	50mL	5分
(2)	生理食塩液	100mL	
	ニボルマブ	360mg	30分
(3)	生理食塩液	50mL	5分